

2024年度 入学試験問題

社 会

2月1日 午前

受験番号	氏名

中村中学校

① 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

皆さんは、「中山久蔵」という人物を知っていますか。彼は江戸時代末期から大正時代にかけて生きた米作りの名人で、特に北海道の水田開発に大変な貢献をした人です。

中山久蔵は、1828年1月15日、現在の①大阪府南河内郡で生まれました。農業を営む旧家に生まれ、17歳の頃には家を飛び出しているいろいろな地域を訪問します。そして1853年、25歳の時に現在の②宮城県あたりを治めていた仙台藩の片倉英馬のもとで仕事を始めました。この頃、現在の北海道にあたる蝦夷地にあった仙台藩の屋敷を何度も訪れていました。

その後、1868年に仙台藩の元を去り現在の③静岡県に移りました。しかし北海道への思い入れが強く、明治維新の後には蝦夷地の開拓を目指します。彼が44歳の時、苫小牧に移住して農業を始めようとしたが、④気候や土壌条件が悪く、断念しました。その後は北海道内を転々として、稲作に挑みつづけます。

そうして、1873年、46歳の時に寒さに強い品種である「赤毛」と「白髭」という品種を用いて稲作を試み、今までより多くの収穫を得ることに成功しました。その後はさらに品種改良を重ね、「赤毛種」と呼ばれる品種を開発します。そうして、収穫高を増やしていきました。

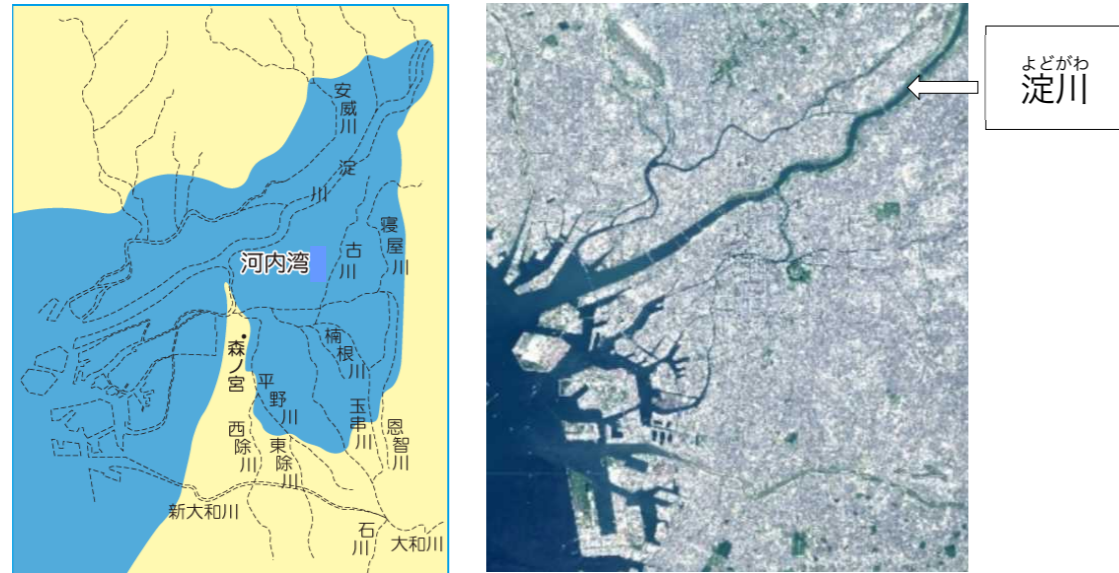
特に彼のすばらしい功績は、その品種を無償で複数の地域にいる農家に提供したことでした。こうした活動のおかげで、⑤北海道の広大な土地に稲作が広まります。

その後、59歳の時に北海道の民間指導員に就任します。北海道で栽培指導を実施して、⑥北海道の農業の成長に大きく貢献しました。多くの偉大な成果を上げた彼は、1919年に91歳でなくなりました。

中山久蔵は品種改良によって北海道に稲作を広めました。しかし、ただ品種改良をして、自分だけで育てても、北海道に稲作が広まることはなかったかもしれません。彼の人生から学ぶことは、現代でも役に立つことでしょう。

〔問1〕下線部①の「大阪府」には、大阪平野と呼ばれる比較的^{ひかくてき}新しい地形があります。これについて、次の資料1から分かることを説明したあとの文章にある空らん A・B にあてはまる語句を、それぞれ漢字3文字で答えなさい。

〔資料1〕縄文時代の大阪平野周辺（左）と現代の大阪平野周辺（右）



（左：水都大阪コンソーシアムホームページより引用 右：地理院地図より作成）

資料1から、大阪平野は元々大部分が A と呼ばれる^{わん}湾で、この水のおかげで大阪平野の地中には工場などに使う B が豊富であると考えられる。しかし近年は地盤沈下もあり、B の利用が見直されている。

〔問2〕下線部②の「宮城県」に関連して、東北地方の説明として正しいものを、次のア～エより1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 最上川^{もがみ}の下流にある仙台平野では、りんごの栽培が盛んである。
- イ. 津軽半島^{つがるはんとう}の南にはオホーツク海が広がり、日本三景^{まつしま}の松島がある。
- ウ. 白神山地^{しらかみ}は世界自然遺産であり、世界最大級のぶなの原生林がある。
- エ. 三陸海岸^{かさい}で開催されるねぶたは、伝統工芸品^{しょうぎこま}の将棋駒^{しょうぎこま}を売る祭りである。

〔問3〕下線部③の「静岡県」には東海工業地域があります。この工業地域について説明した次の文章にある空らん C にあてはまる内容として正しいものを、あとのア～エより1つ選び、記号で答えなさい。

関東と関西をつなぐ位置にあり、東名高速道路に代表されるように陸上交通の便がよく、C による電力や工業用水^{めぐ}に恵まれている。

- ア. 富士山^{ようがん}の溶岩による熱を利用した地熱発電
- イ. 冬に南東から吹く強風^ふを利用した風力発電
- ウ. 広大な平野部の^あ荒れ地を利用した太陽光発電
- エ. 近くを流れる河川の水を利用した水力発電

〔問4〕下線部④の「気候や土壌条件」についての説明として正しいものを、次のア～エより1つ選び、記号で答えなさい。

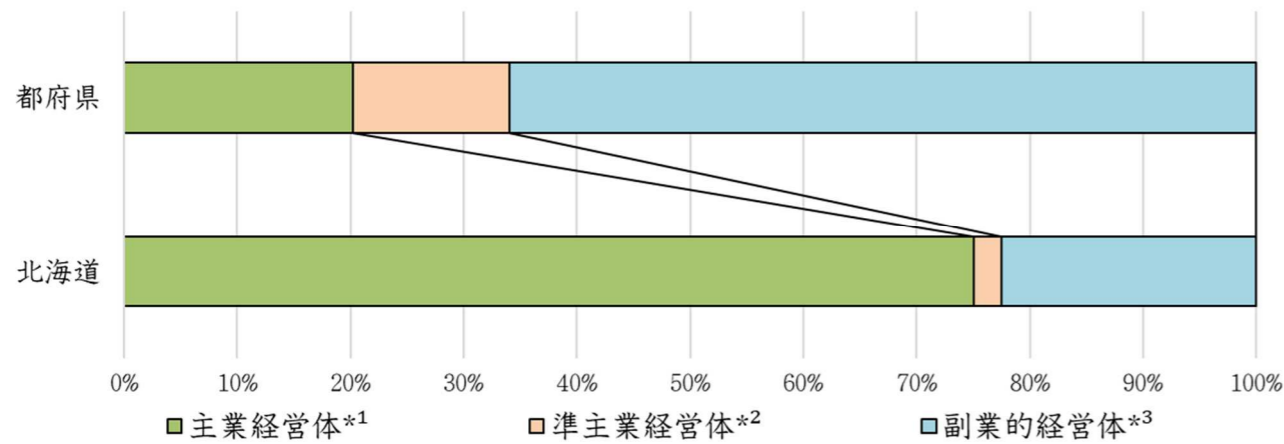
- ア. 北海道には泥炭地^{でいたんち}や火山灰地と呼ばれる、農業に向かない土地もある。
- イ. 北海道の河川には利根川^{しなの}や信濃川があり、河口付近には山脈がある。
- ウ. 北海道は冬の寒さが厳しいため、梅雨^{えいぎょう}や台風の影響を受けやすい。
- エ. 北海道では太平洋側^{つしま}に対馬海流が流れ、日本海側より気温が高い。

〔問5〕下線部⑤に関連して、広大な北海道にはさまざまな自然環境が広がります。そのうち釧路湿原^{くしろ}などの湿原を保護している取り決めとして正しいものを、次のア～エより1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. ワシントン条約
- イ. ラムサール条約
- ウ. ベルサイユ条約
- エ. ポーツマス条約

〔問6〕下線部⑥に関連して、北海道とその他都府県を比較すると、資料2のように主業経営体が多いことがわかります。このように、北海道では主業経営体が多い理由を、資料3・資料4から読み取って説明しなさい。

〈資料2〉全農家に占める経営体の種別割合



(農林水産省「農業構造実態調査」より作成)

＊1 主業経営体

年間60日以上農業に従事する65歳未満の就業者がおり、家族全員の収入のうち50%以上が農業によるものである農家

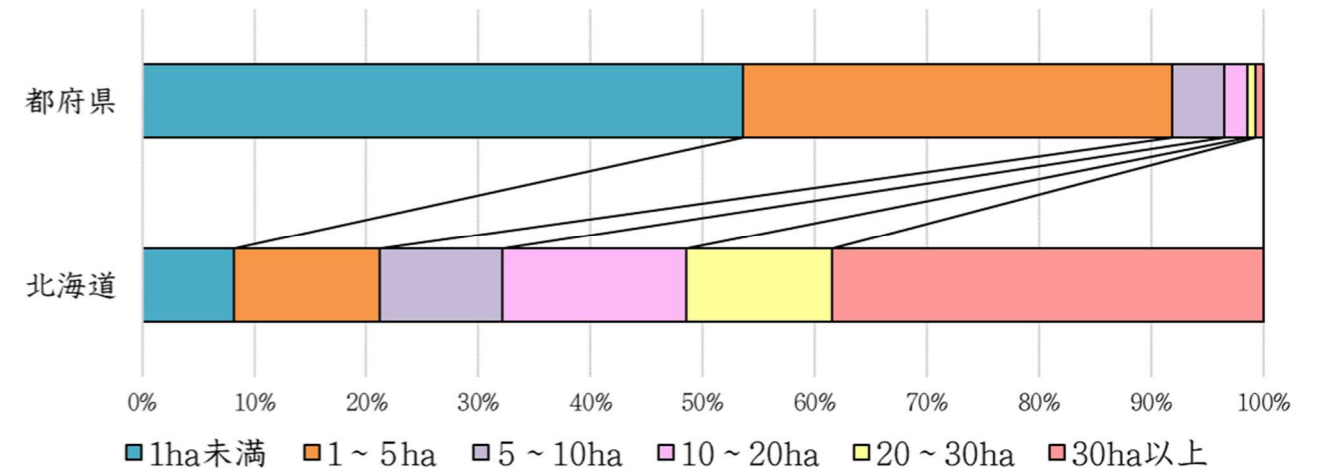
＊2 準主業経営体

年間60日以上農業に従事する65歳未満の就業者がおり、家族全員の収入のうち50%未満が農業によるものである農家

＊3 副業的経営体

年間60日以上農業に従事する65歳未満の就業者がいない農家

〈資料3〉経営耕地面積規模別経営体の割合



(農林水産省「農業構造実態調査」より作成)

〈資料4〉生産農業所得

	1 農業経営体当たりの生産農業所得 (円)
都府県	8,638,390
北海道	15,229,102

(農林水産省「令和5年農業構造動態調査」および「令和5年農業センサス」より作成)

2 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

現在、リニア中央新幹線の工事が進んでおり、このまま順調に進めば2027年には東京－名古屋間、2037年には名古屋－大阪間が開通すると言われていま
す。そうすると東京－大阪間はおよそ1時間で結ばれます。現在の東海道新幹線の
ぞみは東京から新大阪まで2時間30分弱ですから、半分以上の時間短縮となりま
す。

しかし、乗り物が存在しない頃にはそれなりの時間がかかりました。①『延喜式』
によると、平安時代、②都の平安京へは現在の東京周辺からだと行きはおおよそ3
0日かかり、帰りは半分の15日だったそうです。③鎌倉時代に書かれた『十六夜
日記』は、著者の阿仏尼による14日間かかった京都から鎌倉までの紀行文です。
そこからも関東圏から関西圏への移動は徒歩でおおよそ半月かかったことがわか
ります。

江戸時代になると江戸－京都間は④東海道や中山道が整備され、宿駅なども設
置されました。⑤幕府や大名だけでなく、庶民も利用することができました。この
頃になると飛脚は江戸－京都間を70時間、つまり3日かからずに走ったという
記録が残っています。

⑥明治時代以降、産業の発達に伴い移動手段もめまぐるしく発展をとげ、以下の
通りその時間も短縮されています。

1889年	新橋－神戸間	20時間	5分	(蒸気機関車)
1930年	東京－大阪間	8時間	20分	(蒸気機関車超特急 燕)
1958年	東京－大阪間	6時間	50分	(電車特急こだま)
⑦1964年	東京－新大阪間	4時間		(新幹線ひかり)

リニア中央新幹線の開通でも十分楽しみですが、その先にどんな移動手段が出て
くるのかワクワクしますね。

(問1) 下線部①の『延喜式』は醍醐天皇の時に作成されたものです。では、この
醍醐天皇が紀貫之に命じて作らせた和歌集を何というか、答えなさい。

(問2) 下線部②に関連して、行きと帰りで日数が異なる理由を、当時の税のしく
みに触れながら説明しなさい。

(問3) 下線部③に関連して、『十六夜日記』が書かれた頃の様子として正しいも
のを、次のア～エより1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 足利義満によって、南北朝の合体が実現した。
- イ. 元軍が博多に上陸するも、暴風雨にあい退去した。
- ウ. 墾田永年私財法によって土地の永久私有が認められた。
- エ. 白河天皇は皇位を譲り、上皇として院政を始めた。

(問4) 下線部④の「東海道」の様子を描いた浮世絵とその説明として正しいもの
を、次のア～エより1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. ここに描かれている「神奈川（現在の神奈川県横浜市）」は、日米
和親条約によって函館と共に開港され、その後港町として栄えた。



- イ. ここに描かれている「^{ふじさわ}藤澤（現在の神奈川県藤沢市）」の小高いところには、^{がんじん}鑑真が奈良時代に開いた^{とうしょうだい}唐招提寺が見える。



- ウ. ここに描かれている「^{しまだ}嶋田（現在の静岡県島田市）」の西側を流れる^{おおい}大井川には、江戸の防衛上、橋はかけられなかった。



- エ. ここに描かれている「^{おほつ}大津（現在の滋賀県大津市）」からは、当時、荷物の運送を動物に頼らず、^{たよ}人力で行われていたことがわかる。



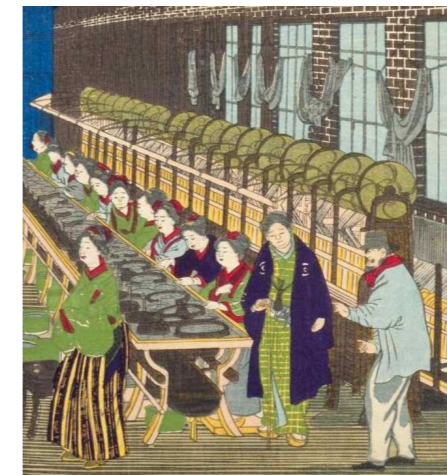
(いずれも『国立国会図書館デジタルコレクション』より)

- (問5) 下線部⑤の江戸時代の「幕府や大名」に関する説明として正しいものを、次のア～エより1つ選び、記号で答えなさい。

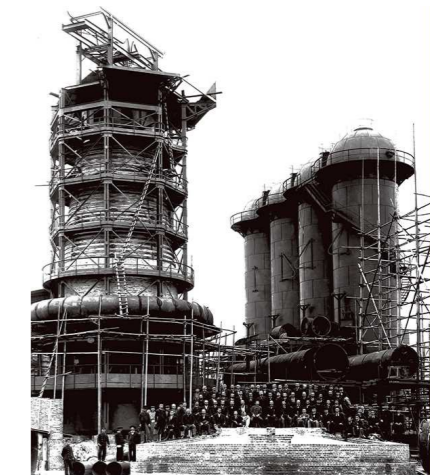
- ア. 大名は武家諸法度で規定されたため、定期的に江戸へ参勤した。
 イ. 幕府は、江戸時代を通じて株仲間を公認することはなかった。
 ウ. 大老井伊直弼によって、反対派の大名たちは全員切腹を命じられた。
 エ. 幕府はオランダ船の来航を禁止して、鎖国を完成させた。

- (問6) 下線部⑥に関連して、図や写真とその説明の組み合わせとして正しいものを、あとのア～エより1つ選び、記号で答えなさい。

A



B



(A『国立国会図書館デジタルコレクション』より)

(B『福岡県ホームページ』より)

- ア. Aは^{とみおか}富岡製糸場の様子で、工場労働者のほとんどが男性だということが見て取れる。
 イ. Bは^{とみおか}富岡製糸場の様子で、西郷隆盛が視察に行ったときに撮影されたものである。
 ウ. Aは^{やはた}八幡製鉄所で、^{にちる}日露戦争の^{ばいしょうきん}賠償金で建設された。
 エ. Bは^{やはた}八幡製鉄所で、^{にっしん}日清戦争の賠償金で建設された。

(問7) 下線部⑦に関連して、新幹線はこの年に東京で行われたある国際的なイベント開催に合わせて開通しました。では、そのイベントとは何か答えなさい。

③ 次の詩を読んで、あとの各問いに答えなさい。

① 沖縄戦の真相にふれるたびに
戦争というものは
これほど残酷なもので
と田中二郎の詩

この戦争は、なまなましい体験の刑罰では
いかなる人でも
戦争を肯定し美化することは
できないはずだ
戦争をおこすのは たしかに 人間です
しかし それ以上に

② 戦争を許さない奴力のできるのも
私たち 人間 ではないでしょうか

戦後このかた 私たちは
あらゆる戦争を増み
平和な世界を建設せねば
と田中二郎の詩

これが
あまりにも大きすぎる代償を払って得た
抑えることのできない
私たちの信託余なのです

(沖縄県平和祈念資料館 展示むすびの言葉より)

(問1) 下線部①に関連して、次の日本国憲法の条文中の空らん□に共通してあてはまる語句を漢字2字で答えなさい。

第九条
日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、□による威嚇又は□の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
②前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。
国の交戦権は、これを認めない。

〔問2〕 次の資料1は、2017年に国際連合で採択された条約の一部です。アメリカやロシア、中国などの核保有国、そして日本もこの条約には参加していません。この条約の名称として正しいものをあとのア～エより1つ選び、記号で答えなさい。

〔資料1〕

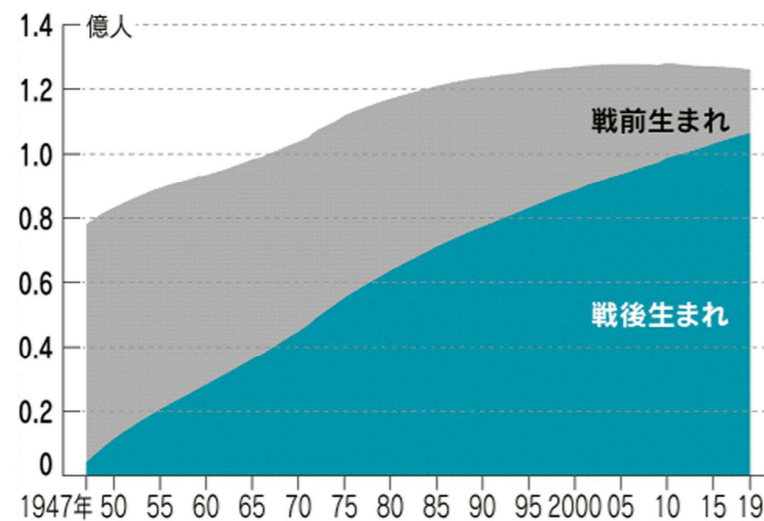
核兵器のあらゆる使用によって引き起こされる壊滅的な人道上的結末を深く懸念し、核兵器を全廃する必要があると認識する。全廃こそが、いかなる状況でも核兵器が二度と使われないことを保証する唯一の方法である。

核兵器の使用による被害者（ヒバクシャ）と核実験によって影響を受けた人々にもたらされた受け入れ難い苦しみと危害に留意する。

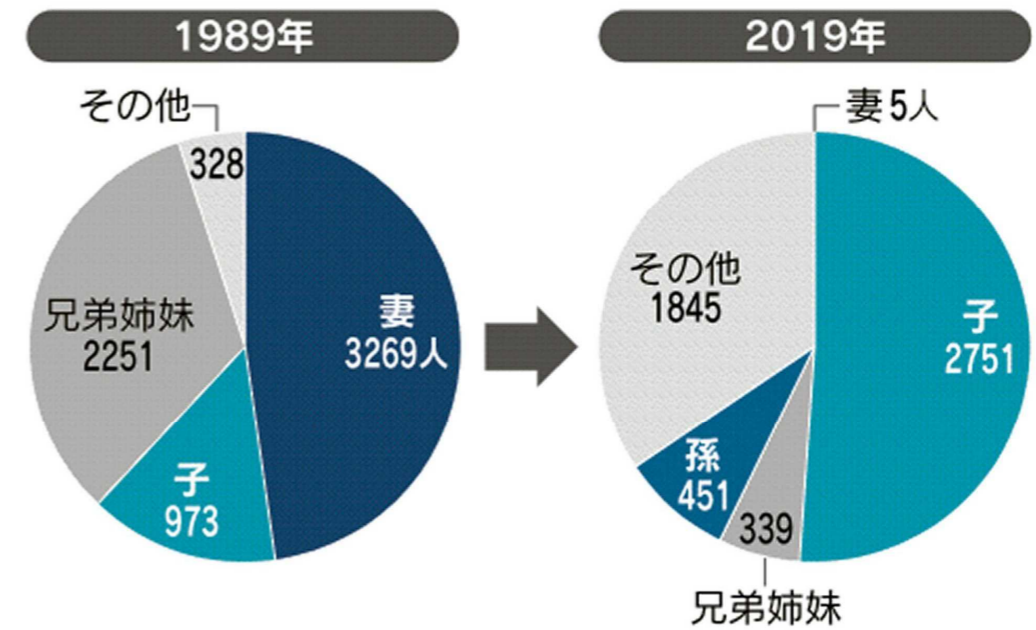
- ア. 核拡散防止条約
- イ. 包括的核実験禁止条約
- ウ. 核兵器禁止条約
- エ. 子どもの権利条約

〔問3〕 下線部②に関連して、戦争を許さないために私たちが努力できると考えられることを、資料2～4を踏まえて答えなさい。

〔資料2〕 戦前・戦後生まれの人口



〔資料3〕 全国戦没者追悼式の参列遺族の構成



(日本経済新聞 2020年8月15日記事 より)

〔資料4〕 戦争の話、誰から聞きましたか？

1位	祖父・祖母	101人
2位	学校の先生	84人
3位	親	70人
4位	テレビで	7人
5位	塾の先生	6人
6位	近所の人	6人
7位	語り部の人	5人
8位	友人	4人

(日経プラスワン 2010年8月14日記事 より作成)

4 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

江東区には、江戸時代から水運の要として産業の発展などに貢献してきた数多くの河川が縦横に流れています。

これらの河川は人々の暮らしに密着したもので、生活に潤いをもたらし、ときにはやすらぎをも与えてくれるものでした。

度重なる災害によって大きなダメージを受けたまちが復興していく歴史を歩み、先人たちの苦悩と努力により、現在の江東区の礎が築かれました。

河川・運河の耐震対策や高潮から守る防波堤の整備などの防災対策が行われると同時に、区では歴史に培われた地域特性を踏まえ、区民が自然と親しめる新たな空間作りとして、親水公園や水辺の散歩道などの水に親しむまちづくり（親水化）を進めてきました。

しかし区内には、水辺へ近づけない・見えない、散歩道が歩きづらい、水辺資源が十分に活用されていないなど、親水化にむけての課題も多く残っています。

そこで江東区では、いままで進めてきた事業を継承しつつ、さらに安全安心なまちづくりのための都市基盤整備はもちろんのこと、豊かな水辺をより一層活用するため、水辺と緑に彩られた魅力あるまちを目指し親水化事業を進めています。

(江東区土木部河川公園課『まちの記憶と未来展 -浸水から親水への道のり-』より)

(問1) 江東区が進める親水化事業と、SDGs(持続可能な開発目標)のなかで最も関係の深い目標を次のア～エより1つ選び記号で答えなさい。

ア.



イ.



ウ.

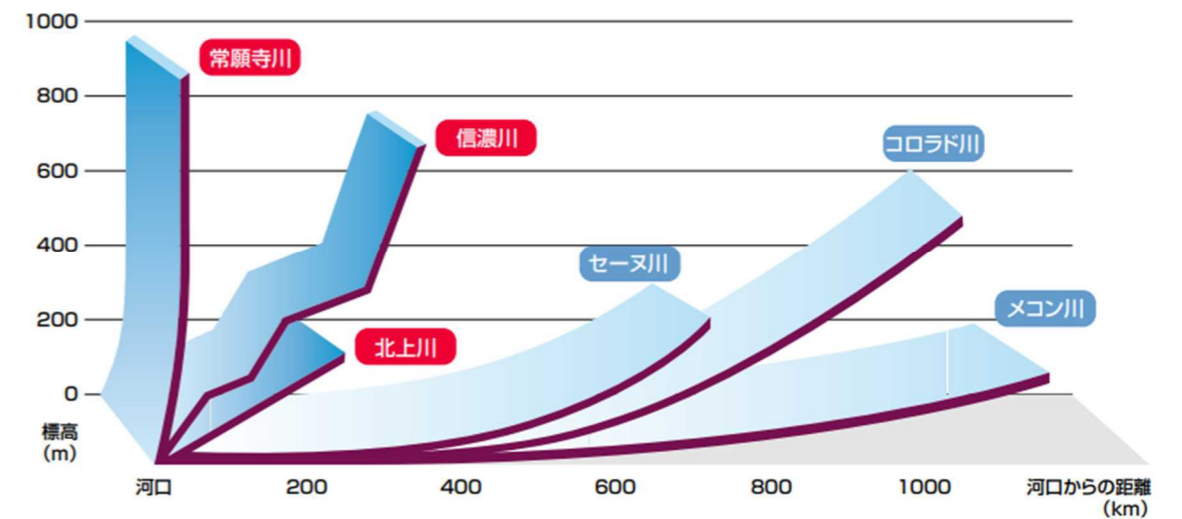


エ.



(問2) 資料1は日本の川と大陸を流れる川とを比べたものです。日本の川は長さが短く上流から下流への勾配が急になっています。この特色を踏まえて、洪水が起こりやすい理由を説明しなさい。

〈資料1〉日本と外国の川の流れの比較

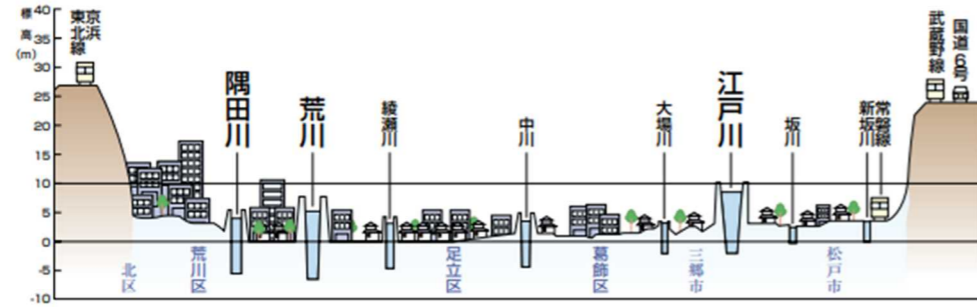


(国土交通省『河川事業概要2006』より)

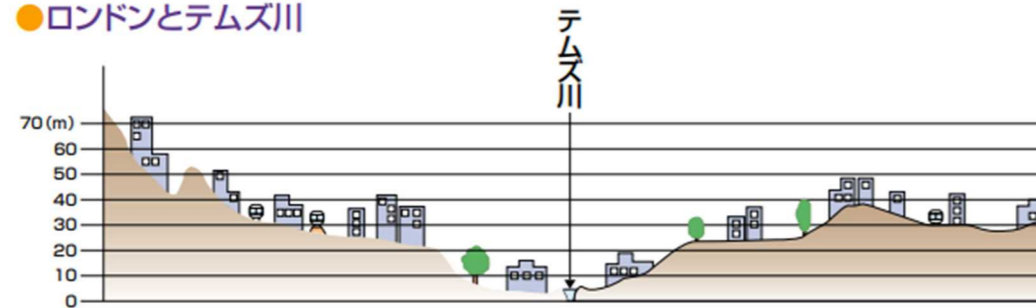
(問3) 資料2は東京とイギリスの首都ロンドンの土地の断面を示したものです。この資料を踏まえて、江東区内の地下鉄駅の出入口が資料3のように階段を上った後に下る構造になっている理由を説明しなさい。

〈資料2〉 東京とロンドンの土地の断面

●東京と江戸川・荒川・隅田川



●ロンドンとテムズ川



(国土交通省『河川事業概要2006』より)

〈資料3〉 門前仲町駅・木場駅・東陽町駅出入口

